

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己PR作成①
	5	自己PR作成②
	6	自己PR作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Excel基礎			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①	16	グラフの書式設定②
	2	ワークシートやブックの作成と管理②	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	3	セルやセル範囲のデータの管理①	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	4	セルやセル範囲のデータの管理②	19	模擬テスト①
	5	テーブルの作成①	20	模擬テスト②
	6	テーブルの作成②	21	模擬テスト③
	7	関数を使用してのデータ集計①	22	模擬テスト④
	8	関数を使用してのデータ集計②	23	模擬テスト⑤
	9	関数を使用しての条件付き計算①	24	模擬テスト⑥
	10	関数を使用しての条件付き計算②	25	模擬テスト⑦
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①	26	模擬テスト⑧
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②	27	模擬テスト⑨
	13	グラフの作成①	28	模擬テスト⑩
	14	グラフの作成②	29	模擬テスト⑪
	15	グラフの書式設定①	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテスト、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ビジネスマナー			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	学校と職場の違い	16	効果測定①
	2	職場のマナー	17	効果測定②
	3	仕事の進め方	18	接遇マナー①
	4	報告、連絡、相談	19	接遇マナー②
	5	挨拶	20	接遇マナー③
	6	笑顔、お辞儀	21	接客マナー①
	7	敬語①	22	接客マナー②
	8	敬語②	23	営業マナー①
	9	応対の基本①	24	営業マナー②
	10	応対の基本②	25	商品説明①
	11	電話対応①	26	商品説明②
	12	電話対応②	27	クレーム対応
	13	電話対応③	28	社会人マナー①
	14	電話対応④	29	社会人マナー②
	15	電話対応⑤	30	社会人マナー③
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	時短に効くショートカットキー
	2	入力の時短①
	3	入力の時短②
	4	入力の時短③
	5	入力の時短④
	6	二度手間を防ぐ①
	7	二度手間を防ぐ②
	8	二度手間を防ぐ③
	9	集計作業効率化①
	10	集計作業効率化②
	11	集計作業効率化③
	12	関数による計算・判定①
	13	関数による計算・判定②
	14	実例演習
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買 I（基礎編）
	4	商品売買 II（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 I群A			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原則、簿記の基本原則を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の目的	26	決算⑩（その他の決算整理）
	2	簿記一巡①	27	決算⑪（その他の決算整理）
	3	簿記一巡②	28	確認テスト（第2回）
	4	商品売買①	29	商業簿記総まとめ①
	5	商品売買②	30	商業簿記総まとめ②
	6	現金および預金①	31	商業簿記総まとめ③
	7	現金および預金②	32	商業簿記総まとめ④
	8	手形	33	商業簿記総まとめ⑤
	9	有形固定資産	34	商業簿記総まとめ⑥
	10	その他の債権および債務①	35	損益計算書および貸借対照表①
	11	その他の債権および債務②	36	損益計算書および貸借対照表②
	12	税金	37	損益計算書および貸借対照表③
	13	その他の勘定および訂正仕訳	38	主要簿と補助簿①
	14	株式会社の資本	39	主要簿と補助簿②
	15	確認テスト（第1回）	40	主要簿と補助簿③
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）	41	主要簿と補助簿④
	17	決算②（決算整理後残高試算表）	42	主要簿と補助簿⑤
	18	決算③（精算表）	43	主要簿と補助簿⑥
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）	44	伝票①
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）	45	伝票②
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）		
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）		
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）		
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）		
	25	決算⑩（その他の決算整理）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級簿記総合			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 I群A			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ①（応用編）	46	総合問題演習①
	17	商業簿記総まとめ②（応用編）	47	総合問題演習②
	18	商業簿記総まとめ③（応用編）	48	総合問題演習③
	19	商業簿記総まとめ④（応用編）	49	総合問題演習④
	20	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	50	総合問題演習⑤
	21	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	51	総合問題演習⑥
	22	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	52	総合問題演習⑦
	23	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	53	総合問題演習⑧
	24	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	54	総合問題演習⑨
	25	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	55	総合問題演習⑩
	26	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	56	総合問題演習⑪
	27	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	57	総合問題演習⑫
	28	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	58	総合問題演習⑬
	29	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	59	総合問題演習⑭
	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 I 群B			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	26	株式会社の純資産①（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）	27	株式会社の純資産②（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）	28	企業結合①（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	29	企業結合②（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	30	確認テスト
	6	現金預金（基礎編）	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）	34	連結会計①（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）	35	連結会計②（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）	36	連結会計③（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）	37	連結会計④（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）	38	連結会計⑤（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）	39	連結会計⑥（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）	40	連結会計⑦（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）	41	連結会計⑧（基礎編）
	17	固定資産⑥（基礎編）	42	本支店会計①（基礎編）
	18	為替換算会計①（基礎編）	43	本支店会計②（基礎編）
	19	為替換算会計②（基礎編）	44	本支店会計③（基礎編）
	20	引当金①（基礎編）	45	伝票と帳簿（基礎編）
	21	引当金②（基礎編）		
	22	法人税等①（基礎編）		
	23	法人税等②（基礎編）		
	24	法人税等③（基礎編）		
	25	法人税等④（基礎編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級工業簿記基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 I群B			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）	17	単純総合原価計算（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）	18	減損および仕損（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）	20	組別総合原価計算（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）	28	直接原価計算（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 I群B			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習①（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習②（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習③（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習④（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学入門 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 II群C			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	26	税効果会計②（入門編）
	2	有価証券（入門編）	27	税効果会計③（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	28	外貨建取引①（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）	29	外貨建取引②（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）	30	外貨建取引③（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）	31	商品売買等①（入門編）
	7	リース取引①（入門編）	32	商品売買等②（入門編）
	8	リース取引②（入門編）	33	商品売買等③（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	34	本支店会計①（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）	35	本支店会計②（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）	36	本支店会計③（入門編）
	12	繰延資産（入門編）	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	13	社債（入門編）	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）	39	資本連結①（入門編）
	15	退職給付①（入門編）	40	資本連結②（入門編）
	16	退職給付②（入門編）	41	資本連結③（入門編）
	17	資産除去債務①（入門編）	42	資本連結④（入門編）
	18	資産除去債務②（入門編）	43	成果連結①（入門編）
	19	純資産①（入門編）	44	成果連結②（入門編）
	20	純資産②（入門編）	45	成果連結③（入門編）
	21	純資産③（入門編）		
	22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）		
	23	ストック・オプション①（入門編）		
	24	ストック・オプション②（入門編）		
	25	税効果会計①（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算入門 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 II群C			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）	26	短期利益計画③（入門編）
	2	費目別計算①（入門編）	27	予算管理①（入門編）
	3	費目別計算②（入門編）	28	予算管理②（入門編）
	4	部門別計算①（入門編）	29	予算管理③（入門編）
	5	部門別計算②（入門編）	30	業務的意思決定①（入門編）
	6	部門別計算③（入門編）	31	業務的意思決定②（入門編）
	7	部門別計算④（入門編）	32	業務的意思決定③（入門編）
	8	部門別計算⑤（入門編）	33	業務的意思決定④（入門編）
	9	部門別計算⑥（入門編）	34	業務的意思決定⑤（入門編）
	10	個別原価計算①（入門編）	35	業務的意思決定⑥（入門編）
	11	個別原価計算②（入門編）	36	構造的意決定①（入門編）
	12	個別原価計算③（入門編）	37	構造的意決定②（入門編）
	13	総合原価計算④（入門編）	38	構造的意決定③（入門編）
	14	総合原価計算⑤（入門編）	39	構造的意決定④（入門編）
	15	総合原価計算⑥（入門編）	40	構造的意決定⑤（入門編）
	16	総合原価計算⑦（入門編）	41	構造的意決定⑥（入門編）
	17	総合原価計算⑧（入門編）	42	戦略的原価計算①（入門編）
	18	標準原価計算①（入門編）	43	戦略的原価計算②（入門編）
	19	標準原価計算②（入門編）	44	戦略的原価計算③（入門編）
	20	標準原価計算③（入門編）	45	戦略的原価計算④（入門編）
	21	標準原価計算④（入門編）		
	22	標準原価計算⑤（入門編）		
	23	直接原価計算（入門編）		
	24	短期利益計画①（入門編）		
	25	短期利益計画②（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修Ⅱ群D			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論①（基礎編）	26	引当金②（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	27	引当金③（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	28	法人税等①（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	29	法人税等②（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	30	法人税等③（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	37	連結会計①（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	38	連結会計②（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	39	連結会計③（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	40	連結会計④（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）	41	連結会計⑤（基礎編）
	17	固定資産②（基礎編）	42	連結会計⑥（基礎編）
	18	固定資産③（基礎編）	43	連結会計⑦（基礎編）
	19	固定資産④（基礎編）	44	連結会計⑧（基礎編）
	20	固定資産⑤（基礎編）	45	連結会計⑨（基礎編）
	21	固定資産⑥（基礎編）		
	22	為替換算会計①（基礎編）		
	23	為替換算会計②（基礎編）		
	24	為替換算会計③（基礎編）		
	25	引当金①（基礎編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修Ⅱ群D			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎	26	工程別総合原価計算①
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	27	工程別総合原価計算②
	3	材料費会計①	28	組別総合原価計算
	4	材料費会計②	29	等級別総合原価計算①
	5	労務費会計①	30	等級別総合原価計算②
	6	労務費会計②	31	標準原価計算①
	7	経費会計	32	標準原価計算②
	8	製造間接費会計①	33	標準原価計算③
	9	製造間接費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	10	単純個別原価計算①	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	11	単純個別原価計算②	36	工場会計の独立
	12	単純個別原価計算③	37	直接原価計算①
	13	部門別計算①	38	直接原価計算②
	14	部門別計算②	39	確認テスト（第2回）
	15	部門別計算③	40	工業簿記総まとめ①
	16	確認テスト（第1回）	41	工業簿記総まとめ②
	17	工企業の財務諸表①	42	工業簿記総まとめ③
	18	工企業の財務諸表②	43	工業簿記総まとめ④
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）	44	工業簿記総まとめ⑤
	20	総合原価計算①	45	工業簿記総まとめ⑥
	21	総合原価計算②		
	22	総合原価計算③		
	23	総合原価計算④		
	24	総合原価計算⑤		
	25	総合原価計算⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学入門 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 II 群 E			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2 単位			
授業回数	30 回			
授業概要	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要 I ①（初歩編）	16	固定資産 I ⑥（初歩編）
	2	簿記の概要 I ②（初歩編）	17	ソフトウェア I ①（初歩編）
	3	現金預金 I ①（初歩編）	18	ソフトウェア I ②（初歩編）
	4	現金預金 I ②（初歩編）	19	債権債務 I ①（初歩編）
	5	債権債務 I ①（初歩編）	20	債権債務 I ②（初歩編）
	6	債権債務 I ②（初歩編）	21	貸倒れ I ①（初歩編）
	7	商品売買 I ①（初歩編）	22	貸倒れ I ②（初歩編）
	8	商品売買 I ②（初歩編）	23	退職給付会計 I ①（初歩編）
	9	給料等 I ①（初歩編）	24	退職給付会計 I ②（初歩編）
	10	給料等 I ②（初歩編）	25	退職給付会計 I ③（初歩編）
	11	固定資産 I ①（初歩編）	26	退職給付会計 I ④（初歩編）
	12	固定資産 I ②（初歩編）	27	退職給付会計 I ⑤（初歩編）
	13	固定資産 I ③（初歩編）	28	退職給付会計 I ⑥（初歩編）
	14	固定資産 I ④（初歩編）	29	税金 I ①（初歩編）
	15	固定資産 I ⑤（初歩編）	30	税金 I ②（初歩編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 II群E			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（初歩）	16	外形基準、租税公課（初歩）
	2	個別注記表（初歩）	17	源泉所得税、社会保険料（初歩）
	3	現金及び預金（初歩）	18	財務諸表論の基礎概念①（初歩）
	4	債権債務（初歩）	19	財務諸表論の基礎概念②（初歩）
	5	関係会社概念（初歩）	20	財務諸表論の基礎概念③（初歩）
	6	売上原価の算定（初歩）	21	財務諸表論の基礎概念④（初歩）
	7	貸倒れ（初歩）	22	財務諸表論の基礎概念⑤（初歩）
	8	給料等（初歩）	23	企業会計原則（一般原則）①（初歩）
	9	その他の引当金（初歩）	24	企業会計原則（一般原則）②（初歩）
	10	退職給付会計（初歩）	25	企業会計原則（一般原則）③（初歩）
	11	有形固定資産（初歩）	26	企業会計原則（一般原則）④（初歩）
	12	無形固定資産（初歩）	27	企業会計原則（一般原則）⑤（初歩）
	13	株主資本（初歩）	28	企業会計原則（一般原則）⑥（初歩）
	14	ソフトウェア（初歩）	29	企業会計原則（一般原則）⑦（初歩）
	15	法人税等・追徴還付（初歩）	30	企業会計原則（一般原則）⑧（初歩）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記入門 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択必修 II群G			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	商品売買総論①	16	他勘定振替高②
	2	商品売買総論②	17	棚卸資産の範囲①
	3	商品売買の記帳方法①	18	棚卸資産の範囲②
	4	商品売買の記帳方法②	19	棚卸資産の期末評価①
	5	商品有高帳の記帳①	20	棚卸資産の期末評価②
	6	商品有高帳の記帳②	21	棚卸減耗損①
	7	返品・値引・割戻の処理①	22	棚卸減耗損②
	8	返品・値引・割戻の処理②	23	商品評価損①
	9	割引の処理①	24	商品評価損②
	10	割引の処理②	25	売価還元法①
	11	原価率等①	26	売価還元法②
	12	原価率等②	27	トレーディング目的で保有する棚卸資産①
	13	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理①	28	トレーディング目的で保有する棚卸資産②
	14	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理②	29	巻末総合問題演習①
	15	他勘定振替高①	30	巻末総合問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修 II 群 G	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	管理会計論総論
	2	管理会計論の範囲
	3	原価計算の本質・意義
	4	原価計算の基本思考
	5	原価計算の目的
	6	費目別計算総論
	7	原価の分類
	8	材料費の計算
	9	材料費の分類
	10	労務費の計算
	11	労務費の計算
	12	経費の計算
	13	経費の分類
	14	製造間接費の計算
	15	製造間接費と配賦計算
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	選択必修 III群
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	実務家教員・・・経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム
	2 小切手・手形の実務上のポイント
	3 入出金伝票と現金出納帳
	4 当座預金出納帳と手形記入帳
	5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分
	6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①
	7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②
	8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③
	9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④
	10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤
	11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥
	12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①
	13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②
	14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③
	15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①
	16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	21 個人住民税の徴収及び納付①
	22 個人住民税の徴収及び納付②
	23 印紙税の基礎知識
	24 受取利息の会計処理
	25 消費税法の概要①
	26 消費税法の概要②
	27 消費税の会計処理
	28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング概論			
実務家教員	○			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択必修 III群			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記				
授業計画	1	マーケティングと顧客満足	16	店舗実習事前研究①
	2	マーケティング分析方法①	17	店舗実習事前研究②
	3	マーケティング分析方法②	18	店舗実習事前指導
	4	マーケティングと財務知識①	19	店舗実習①
	5	マーケティングと財務知識②	20	店舗実習②
	6	マーケティングと財務知識③	21	店舗実習③
	7	マーケティングと財務知識④	22	店舗実習④
	8	マーケティング手法①	23	店舗実習⑤
	9	マーケティング手法②	24	店舗実習⑥
	10	確認テスト	25	店舗実習振り返り
	11	事例から学ぶマーケティング①	26	マーケティング演習①
	12	事例から学ぶマーケティング②	27	マーケティング演習②
	13	事例から学ぶマーケティング③	28	マーケティング演習③
	14	事例から学ぶマーケティング④	29	マーケティング演習④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤	30	マーケティング演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修 III群	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省職員による防災に関する実務経験を基にした講義と実習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	31	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	32	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	33	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	34	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	35	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	36	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	37	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	38	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	39	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）
	7	標準原価計算③（基礎編）
	8	予算管理（基礎編）
	9	業務的意思決定①（基礎編）
	10	業務的意思決定②（基礎編）
	11	構造的意意思決定①（基礎編）
	12	構造的意意思決定②（基礎編）
	13	戦略的原価計算（基礎編）
	14	事業部制①（基礎編）
	15	事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学総合 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑		
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒		
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓		
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔		
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算総合 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳	45	総合問題対策㉔（テスト形式の問題解説）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑		
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒		
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕		
成績評価方法 (試験実施方法)	基礎的な解答力を測定する試験の得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	I T リテラシ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31	項目別問題演習⑦
	2	コンピュータシステムの構成②	32	項目別問題演習⑧
	3	コンピュータシステムの構成③	33	項目別問題演習⑨
	4	コンピュータシステムの構成④	34	項目別問題演習⑩
	5	ネットワークテクノロジー①	35	項目別問題演習⑪
	6	ネットワークテクノロジー②	36	項目別問題演習⑫
	7	ネットワークテクノロジー③	37	項目別問題演習⑬
	8	ネットワークテクノロジー④	38	項目別問題演習⑭
	9	ネットワークテクノロジー⑤	39	項目別問題演習⑮
	10	ネットワークの構築と運用①	40	項目別問題演習⑯
	11	ネットワークの構築と運用②	41	項目別問題演習⑰
	12	ネットワークの構築と運用③	42	項目別問題演習⑱
	13	ネットワークの構築と運用④	43	直前答案練習①
	14	ネットワークの構築と運用⑤	44	直前答案練習②
	15	情報セキュリティ①	45	直前答案練習③
	16	情報セキュリティ②	46	直前答案練習④
	17	情報セキュリティ③	47	直前答案練習⑤
	18	情報セキュリティ④	48	直前答案練習⑥
	19	情報セキュリティ⑤	49	直前答案練習⑦
	20	情報セキュリティ⑥	50	直前答案練習⑧
	21	情報セキュリティ⑦	51	直前答案練習⑨
	22	情報セキュリティ⑧	52	直前答案練習⑩
	23	情報セキュリティ⑨	53	直前答案練習⑪
	24	情報セキュリティ⑩	54	直前答案練習⑫
	25	項目別問題演習①	55	直前答案練習⑬
	26	項目別問題演習②	56	直前答案練習⑭
	27	項目別問題演習③	57	直前答案練習⑮
	28	項目別問題演習④	58	直前答案練習⑯
	29	項目別問題演習⑤	59	直前答案練習⑰
	30	項目別問題演習⑥	60	直前答案練習⑱
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	業界・企業研究実践	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自分の価値観に合った企業選びができる	
授業の進め方	仕事や会社選びの基礎知識を身につけた上で、業界・企業研究を体系的に学ぶ	
達成目標	企業の方のセミナーを通して自分を理解し、業界を理解し、企業を選べるようになる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	仕事・会社選びの基礎知識①
	2	仕事・会社選びの基礎知識②
	3	仕事・会社選びの基礎知識③
	4	業界研究の基本（業界をどう見るか）①
	5	業界研究の基本（業界をどう見るか）②
	6	業界研究の基本（業界をどう見るか）③
	7	企業研究の基本（ビジネスモデルを理解する）
	8	企業の比較（業界セミナー）①
	9	企業の比較（業界セミナー）②
	10	企業の比較（業界セミナー）③
	11	企業の比較（業界セミナー）④
	12	企業の比較（業界セミナー）⑤
	13	企業の比較（業界セミナー）⑥
	14	企業の比較（業界セミナー）⑦
	15	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	給与計算実務			
実務家教員	○			
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	1単位			
授業回数	30回			
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	実務家教員・・・経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務			
授業計画	1	所得税の基礎知識①	16	法定調書の流れ②
	2	所得税の基礎知識②	17	法定調書の流れ③
	3	所得税の基礎知識③	18	法定調書の流れ④
	4	所得税の基礎知識④	19	法定調書の流れ⑤
	5	所得税の基礎知識⑤	20	法定調書の流れ⑥
	6	所得税の基礎知識⑥	21	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	7	所得税の基礎知識⑦	22	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	8	年末調整のしかた①	23	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	9	年末調整のしかた②	24	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④
	10	年末調整のしかた③	25	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤
	11	年末調整のしかた④	26	労働保険の概要及び会計処理①
	12	年末調整のしかた⑤	27	労働保険の概要及び会計処理②
	13	年末調整のしかた⑥	28	労働保険の概要及び会計処理③
	14	年末調整のしかた⑦	29	労働保険の概要及び会計処理④
	15	法定調書の流れ①	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究・発表			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	共通選択			
授業方法	演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記				
授業計画	1	企画作成①	16	オンラインプレゼン方法①
	2	企画作成②	17	オンラインプレゼン方法②
	3	企画作成③	18	オンラインプレゼン方法③
	4	企画作成④	19	企画のブラッシュアップ⑨
	5	企画作成⑤	20	企画のブラッシュアップ⑩
	6	中間発表①	21	企画のブラッシュアップ⑪
	7	中間発表②	22	企画のブラッシュアップ⑫
	8	企画のブラッシュアップ①	23	企画のブラッシュアップ⑬
	9	企画のブラッシュアップ②	24	企画のブラッシュアップ⑭
	10	企画のブラッシュアップ③	25	企画のブラッシュアップ⑮
	11	企画のブラッシュアップ④	26	企画のブラッシュアップ⑯
	12	企画のブラッシュアップ⑤	27	企画発表（校内）①
	13	企画のブラッシュアップ⑥	28	企画発表（校内）②
	14	企画のブラッシュアップ⑦	29	企画発表（企業向け）①
	15	企画のブラッシュアップ⑧	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	筆記・実技による効果測定、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語） I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実戦的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	中国語学校で講師をしている	
授業計画	1	中国語の発音／第1課 你好
	2	第2課 你好吗
	3	第3課 你吃什么
	4	第4課 多少钱
	5	第5課 图书馆在哪儿
	6	第6課 我来介绍一下
	7	第7課 你身体好吗
	8	第8課 你是哪国人
	9	第9課 你家有几口人
	10	第10課 现在几点
	11	第11課 办公楼在教学楼北边
	12	第12課 要红的还是要蓝的
	13	第13課 您给我介绍介绍
	14	第14課 咱们去尝尝、好吗
	15	第15課 去邮局你怎么
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点で評価（筆記、リスニング、会話）、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（韓国語） I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介、②買い物でのやりとり、③店での注文、④道などを尋ねる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	中国語学校で講師をしている	
授業計画	1	オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音
	2	基本子音①説明&子音「K」 復習と会話
	3	小テスト 基本子音②－「N」 & 「T」 & 「R」 基本子音③－「M」 & 「P」 & 「S」
	4	復習と会話 基本子音④－「J」 & 「H」 +まとめ
	5	小テスト 激音①－「Ch」 & 「Kh」 復習と会話
	6	激音②－「Th」 & 「Ph」 +まとめ 濃音①－「KK」 & 「TT」 & 「PP」
	7	小テスト 復習と会話 濃音②－「SS」 & 「JJ」 +まとめ
	8	パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話
	9	小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG]
	10	復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ
	11	小テスト 合成母音① [P25&26の説明] 復習と会話
	12	合成母音② [P27、28] <1課>私は日本人です。
	13	小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。
	14	まとめ <1課>宿題チェック/総復習
	15	最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	筆記・実技による効果測定の結果、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要 I ①（入門編）
	2	簿記の概要 I ②（入門編）
	3	簿記の概要 I ③（入門編）
	4	簿記の概要 I ④（入門編）
	5	現金預金 I ①（入門編）
	6	現金預金 I ②（入門編）
	7	現金預金 I ③（入門編）
	8	債権債務 I ①（入門編）
	9	債権債務 I ②（入門編）
	10	商品売買 I ①（入門編）
	11	商品売買 I ②（入門編）
	12	商品売買 I ③（入門編）
	13	給料等 I ①（入門編）
	14	給料等 I ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	オリジナルテキスト	26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	2	固定資産Ⅰ②（入門編）	27	税金Ⅰ①（入門編）
	3	固定資産Ⅰ③（入門編）	28	税金Ⅰ②（入門編）
	4	固定資産Ⅰ④（入門編）	29	税金Ⅰ③（入門編）
	5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	30	税金Ⅰ④（入門編）
	6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	31	社債Ⅰ①（入門編）
	7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
	8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
	9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
	10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
	11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
	12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	13	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	14	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	15	債権債務Ⅰ③（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	16	貸倒れⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
	17	貸倒れⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
	18	貸倒れⅠ③（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
	19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
	20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	45	確認テスト
	21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
	22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
	23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
	24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
	25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択 A			
授業方法	講義			
単位数	4 単位			
授業回数	6 0 回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計 I ①（入門編）	31	外貨建会計 I ⑤（入門編）
	2	税効果会計 I ②（入門編）	32	外貨建会計 I ⑥（入門編）
	3	税効果会計 I ③（入門編）	33	リース会計 I ①（入門編）
	4	税効果会計 I ④（入門編）	34	リース会計 I ②（入門編）
	5	税効果会計 I ⑤（入門編）	35	リース会計 I ③（入門編）
	6	税効果会計 I ⑥（入門編）	36	リース会計 I ④（入門編）
	7	税効果会計 I ⑦（入門編）	37	リース会計 I ⑤（入門編）
	8	税効果会計 I ⑧（入門編）	38	リース会計 I ⑥（入門編）
	9	現在価値計算 I ①（入門編）	39	試用販売 I ①（入門編）
	10	現在価値計算 I ②（入門編）	40	試用販売 I ②（入門編）
	11	現在価値計算 I ③（入門編）	41	試用販売 I ③（入門編）
	12	保険金 I ①（入門編）	42	試用販売 I ④（入門編）
	13	保険金 I ②（入門編）	43	試用販売 I ⑤（入門編）
	14	保険金 I ③（入門編）	44	試用販売 I ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債 I ①（入門編）	45	割賦販売 I ①（入門編）
	16	新株予約権付社債 I ②（入門編）	46	割賦販売 I ②（入門編）
	17	新株予約権付社債 I ③（入門編）	47	割賦販売 I ③（入門編）
	18	新株予約権付社債 I ④（入門編）	48	割賦販売 I ④（入門編）
	19	新株予約権付社債 I ⑤（入門編）	49	割賦販売 I ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債 I ⑥（入門編）	50	割賦販売 I ⑥（入門編）
	21	減損会計 I ①（入門編）	51	未着品販売 I ①（入門編）
	22	減損会計 I ②（入門編）	52	未着品販売 I ②（入門編）
	23	減損会計 I ③（入門編）	53	未着品販売 I ③（入門編）
	24	減損会計 I ④（入門編）	54	未着品販売 I ④（入門編）
	25	資産除去債務 I ①（入門編）	55	委託販売・受託販売 I ①（入門編）
	26	資産除去債務 I ②（入門編）	56	委託販売・受託販売 I ②（入門編）
	27	外貨建会計 I ①（入門編）	57	委託販売・受託販売 I ③（入門編）
	28	外貨建会計 I ②（入門編）	58	委託販売・受託販売 I ④（入門編）
	29	外貨建会計 I ③（入門編）	59	委託販売・受託販売 I ⑤（入門編）
	30	外貨建会計 I ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（入門）	26	消費税等（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	27	他勘定振替（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	28	外貨建有価証券（入門）
	4	その他有価証券（入門）	29	リース会計（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	30	証券投資信託（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
	7	現在価値計算（入門）	32	売価還元法（入門）
	8	社債（入門）	33	製造業会計（入門）
	9	利益剰余金（入門）	34	研究開発費（入門）
	10	自己株式（入門）	35	新株予約権（入門）
	11	配当（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	37	損益計算書総論（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
	14	税効果会計（入門）	39	資産総論（入門）
	15	税効果注記（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）	41	連続意見書（入門）
	17	株主資本等変動計算書（入門）	42	引当金（入門）
	18	減損会計（入門）	43	会計観（入門）
	19	配当を受けた株主の処理（入門）	44	金融商品（入門）
	20	圧縮記帳（入門）	45	確認テスト(理論)
	21	外貨建取引（入門）		
	22	退職給付会計簡便法（入門）		
	23	繰延資産（入門）		
	24	為替予約（入門）		
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール&リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール&リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール&リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール&リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール&リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	現金	16	手形の割引
	2	当座預金	17	不渡手形
	3	割引現在価値の概要	18	手形の更改
	4	現価係数	19	営業外手形
	5	年金現価係数	20	金融手形（手形借入金・手形貸付金）
	6	売掛金・買掛金	21	売上債権に含まれる金利部分の会計処理
	7	その他の債権・債務	22	貸倒損失
	8	前払費用	23	貸倒引当金の設定
	9	未払費用	24	貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し
	10	前受収益	25	貸倒れ処理済債権の回収
	11	未収収益	26	手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入
	12	手形総論	27	相殺適状
	13	約束手形	28	貸倒見積高の算定（一般債権）
	14	為替手形と偶発債務	29	貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）
	15	手形の裏書譲渡	30	貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題（初級編）①
	5	個別基礎問題（初級編）②
	6	個別基礎問題（初級編）③
	7	個別基礎問題（初級編）④
	8	個別基礎問題（初級編）⑤
	9	個別基礎問題（初級編）⑥
	10	個別基礎問題（初級編）⑦
	11	個別基礎問題（初級編）⑧
	12	個別基礎問題（初級編）⑨
	13	個別基礎問題（初級編）⑩
	14	個別基礎問題（初級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	有価証券総論	26	減価償却の概要
	2	株式に係る期中処理	27	減価償却（定額法）
	3	公社債に係る期中処理	28	減価償却（旧定率法）
	4	有価証券の分類と評価	29	減価償却（200%定率法）
	5	親会社株式	30	減価償却（250%定額法）
	6	約定日基準	31	減価償却（級数法）
	7	修正受渡日基準	32	減価償却（生産高比例法）
	8	デリバティブ取引の概要	33	資本的支出と収益的支出
	9	先物取引	34	総合償却
	10	オプション取引	35	売却
	11	スワップ取引	36	除却
	12	ヘッジ会計の概要	37	下取り買替え
	13	繰延ヘッジ	38	圧縮記帳（直接減額方式）
	14	時価ヘッジ	39	臨時損失
	15	債権譲渡	40	保険差益
	16	ローン・パーティシペーション	41	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	17	デット・アサンプション	42	巻末総合問題演習①
	18	デット・エクイティ・スワップ	43	巻末総合問題演習②
	19	ゴルフ会員権	44	巻末総合問題演習③
	20	有形固定資産総論	45	巻末総合問題演習④
	21	取得原価の決定（購入）		
	22	取得原価の決定（時価建設）		
	23	取得原価の決定（現物出資）		
	24	取得原価の決定（交換）		
	25	取得原価の決定（贈与）		
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢（出席率等）を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（初級編）①
	2	計算基礎問題（初級編）②
	3	計算基礎問題（初級編）③
	4	計算基礎問題（初級編）④
	5	計算基礎問題（初級編）⑤
	6	計算基礎問題（初級編）⑥
	7	計算基礎問題（初級編）⑦
	8	計算基礎問題（初級編）⑧
	9	計算基礎問題（初級編）⑨
	10	計算基礎問題（初級編）⑩
	11	計算基礎問題（初級編）⑪
	12	計算基礎問題（初級編）⑫
	13	計算基礎問題（初級編）⑬
	14	計算基礎問題（初級編）⑭
	15	計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	演習授業内におけるチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計の意義
	2	資本循環と財務諸表
	3	財務会計と管理会計
	4	会計責任説と利害調整機能
	5	意思決定有用性説と情報提供機能
	6	利益の性格と財務会計の機能
	7	会社法会計
	8	金融商品取引法会計
	9	単体開示の簡素化
	10	企業会計原則
	11	企業会計基準
	12	会計基準の国際的コンバージェンス
	13	指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い
	14	米国基準の任意適用
	15	原則主義と細則主義
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計基準を設定するアプローチ
	2	概念フレームワークの公表
	3	財務報告の目的
	4	会計情報の質的特性
	5	財務諸表の構成要素
	6	財務諸表における認識と測定
	7	実現主義
	8	発生主義
	9	費用収益対応の原則
	10	収支額基準
	11	実現可能性基準
	12	原価主義
	13	時価主義
	14	割引原価主義
	15	費用配分の原則
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	管理会計論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	配賦基準	16	製造部門費配賦差異の算定
	2	製造間接費の実際配賦	17	補助部門費の配賦
	3	製造間接費の予定配賦	18	配賦基準（単一基準配賦法）
	4	製造間接費予算	19	配賦基準（複数基準配賦法）
	5	配賦差異の算定	20	配賦金額（実際発生額）
	6	固定予算	21	配賦金額（予定配賦額）
	7	公式法変動予算	22	配賦金額（予算許容額）
	8	実査法変動予算	23	個別原価計算総論
	9	部門別計算の意義・目的	24	製造指図書と原価計算表
	10	原価部門の設定	25	完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	11	実際配賦（第1次集計）	26	単純個別原価計算
	12	実際配賦（第2次集計）	27	ロット別個別原価計算
	13	実際配賦（第3次集計）	28	部門別個別原価計算の意義
	14	予定配賦	29	個別原価計算における仕損の処理①
	15	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定	30	個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題（初級編）①
	2	計算基礎問題（初級編）②
	3	計算基礎問題（初級編）③
	4	計算基礎問題（初級編）④
	5	計算基礎問題（初級編）⑤
	6	計算基礎問題（初級編）⑥
	7	計算基礎問題（初級編）⑦
	8	計算基礎問題（初級編）⑧
	9	計算基礎問題（初級編）⑨
	10	計算基礎問題（初級編）⑩
	11	計算基礎問題（初級編）⑪
	12	計算基礎問題（初級編）⑫
	13	計算基礎問題（初級編）⑬
	14	計算基礎問題（初級編）⑭
	15	計算基礎問題（初級編）⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	演習授業内におけるチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	企業法入門 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	個人企業と共同作業	16	定款の作成
	2	会社の概念	17	定款の記載・記録事項
	3	法人性に関する諸問題	18	定款の備置き、閲覧・謄写
	4	4種類の会社	19	発起設立
	5	株式会社の分類	20	募集設立
	6	株式会社の本質的特徴	21	設立登記の手続き
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度	22	設立登記の効力
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）
	9	会社設立に関する立法主義	24	変態設立事項に関する規制（現物出資）
	10	株式会社の設立手続きの流れ	25	変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	11	株式会社の設立の方法	26	変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	12	発起人の意義	27	変態設立事項に関する規制（設立費用）
	13	発起人の資格	28	設立無効の意義
	14	発起人の数	29	設立無効原因
	15	定款の意義	30	設立無効の訴えの制度
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	自己株式の取得・処分等の制限
	6	子会社による親会社株式の取得
	7	株券
	8	株主名簿
	9	株式担保
	10	株式振替制度
	11	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	12	端数の処理
	13	単元株制度
	14	株主等売渡請求の概要
	15	株主等売渡請求の手続き
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	企業法入門Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方を習得する			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	総説一株式会社の機関設計	16	会計監査人
	2	公開会社の機関構造の特色	17	指名委員会等設置会社
	3	株主総会	18	監査等委員会設置会社
	4	取締役	19	募集株式の発行等
	5	善管注意義務と忠実義務	20	募集事項の決定
	6	競業禁止義務	21	募集事項の決定
	7	利益相反取引	22	出資の履行等
	8	取締役の責任	23	募集株式の発行等の効力発生等
	9	取締役の第三者に対する責任	24	新株予約権
	10	取締役会の意義・設置	25	社債の意義
	11	取締役会の権限	26	社債と株式の異同
	12	代表取締役	27	社債の発行
	13	監査役	28	社債の管理
	14	監査役会	29	社債の譲渡
	15	会計参与	30	利息の支払・償還
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査とは
	2	監査の分類
	3	公認会計士の監査領域
	4	財務諸表の監査の必要性
	5	財務諸表の監査の機能
	6	監査の固有の限界
	7	二重責任の原則
	8	財務諸表の作成責任
	9	財務諸表の作成基準
	10	監査人
	11	監査業務の一年の流れ
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	13	監査手続き（監査技術）
	14	リスク・アプローチ
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	IT（情報技術）
	2	監査契約に係る予備的な活動
	3	監査計画
	4	監査証拠の入手方法
	5	監査上の重要性
	6	特別な検討を必要とするリスク
	7	関連当事者との関係及び取引
	8	会計上の見積り
	9	財務諸表監査における不正の検討
	10	監査における不正リスク対応基準
	11	財務諸表監査における法令の検討
	12	グループ監査
	13	内部監査の利用
	14	専門家の業務の利用
	15	監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査の品質管理
	2	監査人の交代（監査事務所間の交代）
	3	監査役等とのコミュニケーション
	4	内部統制の不備に関するコミュニケーション
	5	監査調書
	6	監査意見の内容
	7	財務諸表の適正性
	8	監査報告書
	9	無限定適正意見の場合
	10	除外事項付意見の場合
	11	個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見
	12	追記情報の意義
	13	追記情報と保証機能
	14	比較情報
	15	監査上の主要な検討事項
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストの得点、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）①
	2	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）①
	3	管理会計 択一式応用問題（初級編）①
	4	企業法 択一式応用問題（初級編）①
	5	監査論 択一式応用問題（初級編）①
	6	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）②
	7	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）②
	8	管理会計 択一式応用問題（初級編）②
	9	企業法 択一式応用問題（初級編）②
	10	監査論 択一式応用問題（初級編）②
	11	財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）③
	12	財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）③
	13	管理会計 択一式応用問題（初級編）③
	14	企業法 択一式応用問題（初級編）③
	15	監査論 択一式応用問題（初級編）③
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	5単位			
授業回数	75回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	FP3級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	41	タックスプランニング②
	2	ライフプランニングと資金計画②	42	タックスプランニング③
	3	ライフプランニングと資金計画③	43	タックスプランニング④
	4	ライフプランニングと資金計画④	44	タックスプランニング⑤
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	45	タックスプランニング⑥
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	46	タックスプランニング⑦
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	47	タックスプランニング⑧
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	48	タックスプランニング⑨
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	49	タックスプランニング⑩
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	50	タックスプランニング⑪
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	51	タックスプランニング⑫
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	52	タックスプランニング⑬
	13	ライフプランニングと資金計画⑬	53	不動産①
	14	ライフプランニングと資金計画⑭	54	不動産②
	15	ライフプランニングと資金計画⑮	55	不動産③
	16	リスク管理①	56	不動産④
	17	リスク管理②	57	不動産⑤
	18	リスク管理③	58	不動産⑥
	19	リスク管理④	59	不動産⑦
	20	リスク管理⑤	60	不動産⑧
	21	リスク管理⑥	61	不動産⑨
	22	リスク管理⑦	62	不動産⑩
	23	リスク管理⑧	63	不動産⑪
	24	リスク管理⑨	64	不動産⑫
	25	リスク管理⑩	65	相続・事業承継①
	26	リスク管理⑪	66	相続・事業承継②
	27	リスク管理⑫	67	相続・事業承継③
	28	金融資産運用①	68	相続・事業承継④
	29	金融資産運用②	69	相続・事業承継⑤
	30	金融資産運用③	70	相続・事業承継⑥
	31	金融資産運用④	71	相続・事業承継⑦
	32	金融資産運用⑤	72	相続・事業承継⑧
	33	金融資産運用⑥	73	相続・事業承継⑨
	34	金融資産運用⑦	74	相続・事業承継⑩
	35	金融資産運用⑧	75	確認テスト
	36	金融資産運用⑨		
	37	金融資産運用⑩		
	38	金融資産運用⑪		
	39	金融資産運用⑫		
	40	タックスプランニング①		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP応用			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る			
達成目標	問題演習によりFP3級の基礎知識を定着させる			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①	26	不動産問題演習①
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②	27	不動産問題演習②
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③	28	不動産問題演習③
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④	29	不動産問題演習④
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤	30	不動産問題演習⑤
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥	31	不動産問題演習⑥
	7	リスク管理問題演習①	32	不動産問題演習⑦
	8	リスク管理問題演習②	33	不動産問題演習⑧
	9	リスク管理問題演習③	34	不動産問題演習⑨
	10	リスク管理問題演習④	35	相続・事業承継問題演習①
	11	リスク管理問題演習⑤	36	相続・事業承継問題演習②
	12	金融資産運用問題演習①	37	相続・事業承継問題演習③
	13	金融資産運用問題演習②	38	相続・事業承継問題演習④
	14	金融資産運用問題演習③	39	相続・事業承継問題演習⑤
	15	金融資産運用問題演習④	40	相続・事業承継問題演習⑥
	16	金融資産運用問題演習⑤	41	相続・事業承継問題演習⑦
	17	タックスプランニング問題演習①	42	相続・事業承継問題演習⑧
	18	タックスプランニング問題演習②	43	相続・事業承継問題演習⑨
	19	タックスプランニング問題演習③	44	総復習
	20	タックスプランニング問題演習④	45	確認テスト
	21	タックスプランニング問題演習⑤		
	22	タックスプランニング問題演習⑥		
	23	タックスプランニング問題演習⑦		
	24	タックスプランニング問題演習⑧		
	25	タックスプランニング問題演習⑨		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP総合			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	FP3級に合格できるレベルの知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	総合演習（ケーススタディ）①	31	過去問研究⑳
	2	総合演習（ケーススタディ）②	32	過去問研究㉑
	3	総合演習（ケーススタディ）③	33	過去問研究㉒
	4	総合演習（ケーススタディ）④	34	過去問研究㉓
	5	総合演習（ケーススタディ）⑤	35	過去問研究㉔
	6	総合演習（ケーススタディ）⑥	36	過去問研究㉕
	7	総合演習（ケーススタディ）⑦	37	過去問研究㉖
	8	総合演習（ケーススタディ）⑧	38	過去問研究㉗
	9	総合演習（ケーススタディ）⑨	39	過去問研究㉘
	10	総合演習（ケーススタディ）⑩	40	過去問研究㉙
	11	過去問研究①	41	直前答案練習①
	12	過去問研究②	42	直前答案練習②
	13	過去問研究③	43	直前答案練習③
	14	過去問研究④	44	直前答案練習④
	15	過去問研究⑤	45	直前答案練習⑤
	16	過去問研究⑥	46	直前答案練習⑥
	17	過去問研究⑦	47	直前答案練習⑦
	18	過去問研究⑧	48	直前答案練習⑧
	19	過去問研究⑨	49	直前答案練習⑨
	20	過去問研究⑩	50	直前答案練習⑩
	21	過去問研究⑪	51	直前答案練習⑪
	22	過去問研究⑫	52	直前答案練習⑫
	23	過去問研究⑬	53	直前答案練習⑬
	24	過去問研究⑭	54	直前答案練習⑭
	25	過去問研究⑮	55	直前答案練習⑮
	26	過去問研究⑯	56	直前答案練習⑯
	27	過去問研究⑰	57	直前答案練習⑰
	28	過去問研究⑱	58	直前答案練習⑱
	29	過去問研究㉑	59	直前答案練習㉑
	30	過去問研究㉒	60	直前答案練習㉒
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における科目解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る			
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	外貨建会計①	16	退職給付会計①
	2	外貨建会計②	17	退職給付会計②
	3	外貨建会計③	18	退職給付会計③
	4	リース取引①	19	退職給付会計④
	5	リース取引②	20	消費税法①
	6	リース取引③	21	消費税法②
	7	キャッシュ・フロー計算書①	22	消費税法③
	8	キャッシュ・フロー計算書②	23	消費税法④
	9	キャッシュ・フロー計算書③	24	消費税法⑤
	10	キャッシュ・フロー計算書④	25	法人税法①
	11	キャッシュ・フロー計算書⑤	26	法人税法②
	12	税効果会計①	27	法人税法③
	13	税効果会計②	28	法人税法④
	14	税効果会計③	29	法人税法⑤
	15	税効果会計④	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポート基礎			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業活動①	31	システム構成要素①
	2	企業活動②	32	システム構成要素②
	3	法務①	33	ソフトウェア①
	4	法務②	34	ソフトウェア②
	5	経営戦略マネジメント①	35	ソフトウェア③
	6	経営戦略マネジメント②	36	ハードウェア①
	7	技術戦略マネジメント①	37	ハードウェア②
	8	技術戦略マネジメント②	38	ハードウェア③
	9	ビジネスインダストリ①	39	ヒューマンインターフェース①
	10	ビジネスインダストリ②	40	ヒューマンインターフェース②
	11	システム戦略①	41	ヒューマンインターフェース③
	12	システム戦略②	42	マルチメディア①
	13	システム企画①	43	マルチメディア②
	14	システム企画②	44	マルチメディア③
	15	システム開発技術①	45	データベース①
	16	システム開発技術②	46	データベース②
	17	ソフトウェア開発管理技術①	47	データベース③
	18	ソフトウェア開発管理技術②	48	データベース④
	19	プロジェクトマネジメント	49	データベース⑤
	20	サービスマネジメント①	50	ネットワーク①
	21	サービスマネジメント②	51	ネットワーク②
	22	システム監査①	52	ネットワーク③
	23	システム監査②	53	ネットワーク④
	24	基礎理論①	54	ネットワーク⑤
	25	基礎理論②	55	セキュリティ①
	26	基礎理論③	56	セキュリティ②
	27	アルゴリズムとプログラミング①	57	セキュリティ③
	28	アルゴリズムとプログラミング②	58	セキュリティ④
	29	コンピュータ構成要素①	59	セキュリティ⑤
	30	コンピュータ構成要素②	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①
	2	ITパスポート総まとめ②
	3	ITパスポート総まとめ③
	4	ITパスポート総まとめ④
	5	ITパスポート総まとめ⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦
	8	ITパスポート総合問題対策①
	9	ITパスポート総合問題対策②
	10	ITパスポート総合問題対策③
	11	ITパスポート総合問題対策④
	12	ITパスポート総合問題対策⑤
	13	ITパスポート総合問題対策⑥
	14	ITパスポート総合問題対策⑦
	15	ITパスポート総合問題対策⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	販売員の役割①	26	店舗形態別小売業②
	2	販売員の役割②	27	店舗形態別小売業③
	3	販売員の役割③	28	商業集積①
	4	販売員の法廷知識①	29	商業集積②
	5	販売員の法廷知識②	30	商業集積③
	6	販売員の法廷知識③	31	商業集積④
	7	小売業の計数管理①	32	商業集積⑤
	8	小売業の計数管理②	33	商業集積⑥
	9	小売業の計数管理③	34	小売業のマーケティング①
	10	店舗管理①	35	小売業のマーケティング②
	11	店舗管理②	36	小売業のマーケティング③
	12	店舗管理③	37	小売業のマーケティング④
	13	店舗管理④	38	小売業のマーケティング⑤
	14	店舗管理⑤	39	小売業のマーケティング⑥
	15	店舗管理⑥	40	顧客満足経営①
	16	流通における小売業①	41	顧客満足経営②
	17	流通における小売業②	42	顧客満足経営③
	18	流通における小売業③	43	顧客満足経営④
	19	流通における小売業④	44	顧客満足経営⑤
	20	流通における小売業⑤	45	確認テスト
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	26	マーチャンダイジング②
	2	証券の設定と出店②	27	マーチャンダイジング③
	3	証券の設定と出店③	28	マーチャンダイジング④
	4	リージョナルプロモーション①	29	マーチャンダイジング⑤
	5	リージョナルプロモーション②	30	マーチャンダイジング⑥
	6	リージョナルプロモーション③	31	商品計画①
	7	顧客志向型売り場づくり①	32	商品計画②
	8	顧客志向型売り場づくり②	33	商品計画③
	9	顧客志向型売り場づくり③	34	販売計画及び仕入れ計画①
	10	ストアオペレーション①	35	販売計画及び仕入れ計画②
	11	ストアオペレーション②	36	販売計画及び仕入れ計画③
	12	ストアオペレーション③	37	価格設定①
	13	ストアオペレーション④	38	価格設定②
	14	ストアオペレーション⑤	39	価格設定③
	15	ストアオペレーション⑥	40	在庫管理①
	16	梱包技術①	41	在庫管理②
	17	梱包技術②	42	在庫管理③
	18	梱包技術③	43	販売管理①
	19	ディスプレイ①	44	販売管理②
	20	ディスプレイ②	45	確認テスト
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第1回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第2回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第3回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成
	3	正多面体・展開図、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断、回転体）
	5	平面図形の計量（角度、平方根の計算）
	6	平面図形の計量（三平方の定理、相似比）
	7	平面図形の計量（面積比）
	8	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	9	立体図形の計量
	10	立体図形の計量
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅰ 政治	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本概念（政治と権力、近代国家）、政治過程論（立法過程）
	2	政治の基本概念（国家論）、政治過程論（大衆社会の政治）、政治制度論（権力分立論）
	3	政治制度論（議院内閣制、大統領制、各国の政治制度）
	4	日本国憲法の特徴、基本的人権総論
	5	幸福追求権
	6	平等権、精神的自由権
	7	経済的自由権、人身の自由
	8	社会権
	9	受益権、憲法改正の手続き
	10	国会の機構と運営
	11	国会の機構と運営
	12	内閣の機構と運営
	13	内閣の機構と運営
	14	裁判所の機構と運営
	15	裁判所の機構と運営
	16	地方自治
	17	地方自治
	18	政治過程論（政党と政党制、圧力団体）
	19	政治過程論（選挙制度）
	20	政治総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環境問題など、社会の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済及び社会の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	現代の市場
	5	国民所得
	6	経済成長と景気循環
	7	通貨制度と金融政策
	8	通貨制度と金融政策
	9	財政制度と財政政策
	10	財政制度と財政政策
	11	日本経済の動向
	12	日本経済の動向
	13	貿易と外国為替
	14	貿易と外国為替
	15	国際経済の動向
	16	国際経済の動向
	17	国際経済の動向
	18	経済分野総復習
	19	経済分野総復習
	20	社会理論
	21	労働問題
	22	社会保障
	23	環境問題
	24	環境問題
	25	国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地図の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌（アジア、アフリカ）
	10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	鎌倉時代
	4	室町時代
	5	封建社会の確立
	6	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	7	江戸時代（幕末）、明治維新
	8	立憲体制の確立
	9	近代文化の発展
	10	大正、昭和
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な世界史の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代文明、東洋史（殷～漢）
	2	東洋史（魏～唐）
	3	東洋史（宋～元）
	4	東洋史（明～清）
	5	東洋史（清の崩壊）
	6	近代史（第二次世界大戦）
	7	近代史（第二次世界大戦後の世界）
	8	西洋史（絶対主義）
	9	西洋史（市民革命）
	10	西洋史（第一次世界大戦）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1
	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2
	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3
	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4
	5	文章整序1、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5
	6	空欄補充2、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6
	7	空欄補充1、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7
	8	空欄補充2、文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	実践答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	16	一部応用レベルの問題を含む模擬試験③
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②	19	一部応用レベルの問題を含む模擬試験④
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③	22	実戦レベルの問題を含む模擬試験①
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	一部応用レベルの問題を含む模擬試験①	25	実戦レベルの問題を含む模擬試験②
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一部応用レベルの問題を含む模擬試験②	28	実戦レベルの問題を含む模擬試験③
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	選択	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野1）
	2	時事（政治分野2）
	3	時事（政治分野3）
	4	時事（経済分野1）
	5	時事（経済分野2）
	6	時事（文化1）
	7	時事（文化2）
	8	時事（文化3）
	9	時事（科学1）
	10	時事（科学2）
	11	時事（科学3）
	12	時事（科学4）
	13	時事（科学5）
	14	時事（国際問題1）
	15	時事（国際問題2）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学総合	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝、生殖と発生）
	2	生物（遺伝と変異、刺激の需要と反応）
	3	生物（内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応）
	4	地学（気象現象、日本の四季）
	5	地学（太陽系と宇宙の構造、太陽系と惑星）
	6	物理（力1、力2、運動方程式）
	7	物理（電気、電磁と磁力）
	8	化学（物質の構造、物質の状態）
	9	化学（物質の変化）
	10	自然科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学 I 生物・地学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義	
単位数	1 単位	
授業回数	10 回	
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生殖と発生、遺伝と変異
	3	刺激の受容と反応
	4	内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応
	5	生物の集団、生物の進化と系統
	6	地球の姿と動く大地、地震、岩石
	7	大気と海洋、気象現象、日本の四季
	8	太陽系と宇宙の構造
	9	太陽系と惑星
	10	恒星の世界、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現、力
	2	運動方程式、エネルギー
	3	運動量、熱
	4	波動
	5	電気と磁力、原子
	6	物質の構造
	7	化学結合、物質の状態
	8	酸化と還元
	9	無機化合物、有機化合物
	10	生活と環境の化学
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策1
	2	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策2
	3	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策3
	4	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策4
	5	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策5
	6	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策6
	7	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策7
	8	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策8
	9	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策9
	10	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 教養科目総合	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教養科目全般の総合的な知識を、問題演習を通じて得点力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた知識を基に、答えを導き出し得点につなげることが出来る	
教科書	実戦問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	社会科学問題演習
	2	数的推理問題演習
	3	自然科学問題演習
	4	判断推理問題演習
	5	人文科学問題演習
	6	図形空間把握問題演習
	7	知能系応用演習①
	8	知識系応用演習①
	9	知能系応用演習②
	10	知識系応用演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
単位数	5単位			
授業回数	75回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	40	一部応用レベルの問題も含む模擬試験②
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②	43	一部応用レベルの問題も含む模擬試験③
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③	46	一部応用レベルの問題も含む模擬試験④
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	基礎的なレベルの模擬試験④	49	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑤
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑤	52	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑥
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	基礎的なレベルの模擬試験⑥	55	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑦
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	基礎的なレベルの模擬試験⑦	58	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑧
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	基礎的なレベルの模擬試験⑧	61	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑨
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	基礎的なレベルの模擬試験⑨	64	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑩
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	基礎的なレベルの模擬試験⑩	67	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑪
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	31	基礎的なレベルの模擬試験⑪	70	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑫
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	34	基礎的なレベルの模擬試験⑫	73	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑬
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	37	一部応用レベルの問題も含む模擬試験①		
	38	模擬試験の解説（知能系科目）		
	39	模擬試験の解説（知識系科目）		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルを想定した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1	46	地方公務員タイプの模擬試験 3
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	国家公務員タイプの模擬試験 2	49	地方公務員タイプの模擬試験 4
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	国家公務員タイプの模擬試験 3	52	地方公務員タイプの模擬試験 5
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	国家公務員タイプの模擬試験 4	55	地方公務員タイプの模擬試験 6
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	国家公務員タイプの模擬試験 5	58	地方公務員タイプの模擬試験 7
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	国家公務員タイプの模擬試験 6	61	地方公務員タイプの模擬試験 8
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	国家公務員タイプの模擬試験 7	64	地方公務員タイプの模擬試験 9
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	国家公務員タイプの模擬試験 8	67	地方公務員タイプの模擬試験 10
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	国家公務員タイプの模擬試験 9	70	地方公務員タイプの模擬試験 11
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	国家公務員タイプの模擬試験 10	73	地方公務員タイプの模擬試験 12
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	31	国家公務員タイプの模擬試験 11	76	地方公務員タイプの模擬試験 13
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	77	模擬試験の解説（知能系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	78	模擬試験の解説（知識系科目）
	34	国家公務員タイプの模擬試験 12	79	地方公務員タイプの模擬試験 14
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	80	模擬試験の解説（知能系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）	81	模擬試験の解説（知識系科目）
	37	国家公務員タイプの模擬試験 13	82	地方公務員タイプの模擬試験 15
	38	模擬試験の解説（知能系科目）	83	模擬試験の解説（知能系科目）
	39	模擬試験の解説（知識系科目）	84	模擬試験の解説（知識系科目）
	40	地方公務員タイプの模擬試験 1	85	地方公務員タイプの模擬試験 16
	41	模擬試験の解説（知能系科目）	86	模擬試験の解説（知能系科目）
	42	模擬試験の解説（知識系科目）	87	模擬試験の解説（知識系科目）
	43	地方公務員タイプの模擬試験 2	88	地方公務員タイプの模擬試験 17
	44	模擬試験の解説（知能系科目）	89	模擬試験の解説（知能系科目）
	45	模擬試験の解説（知識系科目）	90	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1	31	地方公務員タイプの模擬試験 1 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	32	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	33	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2	34	地方公務員タイプの模擬試験 1 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	35	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	36	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3	37	地方公務員タイプの模擬試験 1 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	38	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	39	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4	40	地方公務員タイプの模擬試験 1 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5	43	地方公務員タイプの模擬試験 1 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	地方公務員タイプの模擬試験 6	46	地方公務員タイプの模擬試験 1 6
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	地方公務員タイプの模擬試験 7	49	地方公務員タイプの模擬試験 1 7
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	地方公務員タイプの模擬試験 8	52	地方公務員タイプの模擬試験 1 8
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	地方公務員タイプの模擬試験 9	55	地方公務員タイプの模擬試験 1 9
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	地方公務員タイプの模擬試験 1 0	58	地方公務員タイプの模擬試験 2 0
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員適性検査演習 I			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する			
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う			
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法	16	適性試験練習10
	2	適性試験パターン1の練習	17	適性試験練習11
	3	適性試験パターン2の解答方法	18	適性試験練習12
	4	適性試験パターン2の練習	19	適性試験練習13
	5	適性試験パターン3の解答方法	20	適性試験練習14
	6	適性試験パターン3の練習	21	模擬試験（適性試験）1
	7	適性試験練習1	22	模擬試験（適性試験）2
	8	適性試験練習2	23	模擬試験（適性試験）3
	9	適性試験練習3	24	模擬試験（適性試験）4
	10	適性試験練習4	25	模擬試験（適性試験）5
	11	適性試験練習5	26	模擬試験（適性試験）6
	12	適性試験練習6	27	模擬試験（適性試験）7
	13	適性試験練習7	28	模擬試験（適性試験）8
	14	適性試験練習8	29	模擬試験（適性試験）9
	15	適性試験練習9	30	模擬試験（適性試験）10
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	模擬試験（適性試験）1
	14	模擬試験（適性試験）2
	15	模擬試験（適性試験）3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習1
	3	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習2
	4	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習3
	5	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習4
	6	作文練習1
	7	作文練習2
	8	作文練習3
	9	作文練習4
	10	作文練習5
	11	作文練習6
	12	作文練習7
	13	作文練習8
	14	作文練習9
	15	作文練習10
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験数理分野対策 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	解法を理解し演習を繰り返すことで、早く正確に答えを導き出せるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数理対策演習 1
	2	数理対策演習 2
	3	数理対策演習 3
	4	数理対策演習 4
	5	数理対策演習 5
	6	数理対策演習 6
	7	数理対策演習 7
	8	数理対策演習 8
	9	数理対策演習 9
	10	数理対策演習 1 0
	11	数理対策演習 1 1
	12	数理対策演習 1 2
	13	数理対策演習 1 3
	14	数理対策演習 1 4
	15	数理対策演習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への取り組み姿勢(出席率、提出物の完成度等)を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験数理分野対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	解法を理解し演習を繰り返すことで、早く正確に答えを導き出せるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数理対策応用演習 1
	2	数理対策応用演習 2
	3	数理対策応用演習 3
	4	数理対策応用演習 4
	5	数理対策応用演習 5
	6	数理対策応用演習 6
	7	数理対策応用演習 7
	8	数理対策応用演習 8
	9	数理対策応用演習 9
	10	数理対策応用演習 10
	11	数理対策応用演習 11
	12	数理対策応用演習 12
	13	数理対策応用演習 13
	14	数理対策応用演習 14
	15	数理対策応用演習 15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への取り組み姿勢(出席率、提出物の完成度等)を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究1（職種①）
	2	受験職種研究2（職種①）
	3	受験職種研究3（職種①）
	4	模擬個人面接1（職種①）
	5	模擬個人面接2（職種①）
	6	模擬個人面接3（職種①）
	7	受験職種研究4（職種②）
	8	受験職種研究5（職種②）
	9	受験職種研究6（職種②）
	10	模擬個人面接4（職種②）
	11	模擬個人面接5（職種②）
	12	模擬個人面接6（職種②）
	13	受験職種研究7（職種③）
	14	模擬個人面接7（職種③）
	15	模擬個人面接8（職種③）
成績評価方法 (試験実施方法)	個人面接の評価を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験			
実務家教員				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択B			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	受験職種研究 1 (職種①)	31	模擬個人面接 1 3 (職種③)
	2	受験職種研究 2 (職種①)	32	模擬個人面接 1 4 (職種③)
	3	受験職種研究 3 (職種①)	33	模擬個人面接 1 5 (職種③)
	4	受験職種研究 4 (職種①)	34	模擬個人面接 1 6 (職種③)
	5	受験職種研究 5 (職種①)	35	模擬個人面接 1 7 (職種③)
	6	受験職種研究 6 (職種①)	36	模擬個人面接 1 8 (職種③)
	7	模擬個人面接 1 (職種①)	37	受験職種研究 1 9 (職種④)
	8	模擬個人面接 2 (職種①)	38	受験職種研究 2 0 (職種④)
	9	模擬個人面接 3 (職種①)	39	受験職種研究 2 1 (職種④)
	10	模擬個人面接 4 (職種①)	40	受験職種研究 2 2 (職種④)
	11	模擬個人面接 5 (職種①)	41	受験職種研究 2 3 (職種④)
	12	模擬個人面接 6 (職種①)	42	受験職種研究 2 4 (職種④)
	13	受験職種研究 7 (職種②)	43	模擬個人面接 1 9 (職種④)
	14	受験職種研究 8 (職種②)	44	模擬個人面接 2 0 (職種④)
	15	受験職種研究 9 (職種②)	45	模擬個人面接 2 1 (職種④)
	16	受験職種研究 1 0 (職種②)	46	模擬個人面接 2 2 (職種④)
	17	受験職種研究 1 1 (職種②)	47	模擬個人面接 2 3 (職種④)
	18	受験職種研究 1 2 (職種②)	48	模擬個人面接 2 4 (職種④)
	19	模擬個人面接 7 (職種②)	49	受験職種研究 2 5 (職種⑤)
	20	模擬個人面接 8 (職種②)	50	受験職種研究 2 6 (職種⑤)
	21	模擬個人面接 9 (職種②)	51	受験職種研究 2 7 (職種⑤)
	22	模擬個人面接 1 0 (職種②)	52	受験職種研究 2 8 (職種⑤)
	23	模擬個人面接 1 1 (職種②)	53	受験職種研究 2 9 (職種⑤)
	24	模擬個人面接 1 2 (職種②)	54	受験職種研究 3 0 (職種⑤)
	25	受験職種研究 1 3 (職種③)	55	模擬個人面接 2 5 (職種⑤)
	26	受験職種研究 1 4 (職種③)	56	模擬個人面接 2 6 (職種⑤)
	27	受験職種研究 1 5 (職種③)	57	模擬個人面接 2 7 (職種⑤)
	28	受験職種研究 1 6 (職種③)	58	模擬個人面接 2 8 (職種⑤)
	29	受験職種研究 1 7 (職種③)	59	模擬個人面接 2 9 (職種⑤)
	30	受験職種研究 1 8 (職種③)	60	模擬個人面接 3 0 (職種⑤)
成績評価方法 (試験実施方法)	個人面接の評価を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聞き、職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義	
授業計画	1	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	2	受験手続に関する講義
	3	職種別ガイダンス1
	4	職種別ガイダンス2
	5	職種別ガイダンス3
	6	日程別受験先選択の為の講義
	7	職種別ガイダンス4
	8	職種別ガイダンス5
	9	職種別ガイダンス6
	10	職種別ガイダンス7
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への取り組み姿勢(出席率、提出物の完成度等)を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令やサービス規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	公官庁の研修を多く手掛ける公務人材開発協会による講義と演習	
授業計画	1	税制の理解①
	2	税制の理解②
	3	税制の理解③
	4	税制に関するレポート作成
	5	公務員の倫理とサービス規程①
	6	公務員の倫理とサービス規程②
	7	公務員の倫理とサービス規程③
	8	サービス規定に関するレポート作成①
	9	サービス規定に関するレポート作成②
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
単位数	1 単位	
授業回数	10 回	
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	地方行政に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、グループワークを通じて組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	東京都品川区の職員による地方行政の実務経験に基づく講義と演習	
授業計画	1	地方行政の仕組みと仕事内容（講義）
	2	諸問題に対する地方自治体の取り組み（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	研究発表準備 1
	7	研究発表準備 2
	8	研究発表（プレゼンテーション）
	9	地方公務員に求められる資質（講義）
	10	職業実務演習
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（警察官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（警察官）による講義を基にした演習	
授業計画	1	警察官の仕事内容
	2	警察官の組織
	3	警察学校の生活
	4	警察官に求められる資質
	5	研究レポートの作成1
	6	研究レポートの作成2
	7	研究レポートの作成3
	8	研究レポートの作成4
	9	研究レポートの作成5
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習	
授業計画	1	官庁訪問の仕組み
	2	省庁の仕事内容
	3	官公庁講義1
	4	官公庁講義2
	5	官公庁講義3
	6	研究レポートの作成1
	7	研究レポートの作成2
	8	研究レポートの作成3
	9	研究レポートの作成4
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務IV	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（消防官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に関する研究	
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	実務者講義1（消防官に求められる資質）
	3	研究レポート（消防官に求められる資質）
	4	レポートの検証
	5	実務者講義2（自助・共助・公助）
	6	研究レポート（自助・共助・公助）
	7	レポートの検証
	8	実務者講義3（消防と我が人生）
	9	研究レポート（消防と我が人生）
	10	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度を軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習	
授業計画	1	法律概論
	2	民法①（講義）
	3	民法課題研究
	4	民法②（講義）
	5	民法課題研究
	6	憲法①（講義）
	7	憲法②（講義）
	8	憲法課題研究
	9	行政法①（講義）
	10	行政法②（講義）
	11	行政法課題研究
	12	刑法①（講義）
	13	刑法課題研究
	14	刑法②（講義）
	15	刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートを軸に、授業への参加姿勢(出席率等)を含め総合的に評価	
備考		